

24年度予算編成の 取り組みと成果

一新会
長内 信平 議員

問 予算編成における
財源確保の取り組みは。

答 限られた財源を有
効に活用するため、予
算編成を通じて各部
各課等の既存事業の縮
小や繰り延べを行い見
直しをしています。

また、義務的経費は、
実行計画値を基準とし
た予算要求に努め、投
資的事業は、事業の適
償性を検討し、将来世
代への負担の平準化を
図るため村債の発行を
予定する等、財源確保
に取り組みました。

24年度当初予算編成
では、歳入の減額の影
響が大きく財政調整基
金を取り崩しました。

問 本村の行政改革に
ついては。

答 国の政策の変化、
地方でも財政環境が変
化し、経済対策による
経常経費、普通建設事
業の削減方向の乖離が
見え、後期計画にあわ
せて経常経費の効率化
と事務事業の見直しに
よる新アクションプラ
ンとして再構築します。

問 定員管理の適正化
については。

答 今後市制準備、事
務事業の増加が予想さ
れ、職員定員管理計画
で17人の増員を計画し
ます。
また、組織の見直し

は、以前の係長と課長
補佐的な調整役を併せ
持つ総括主査制を設定
し、より重い職責を担
うように変更します。

く状況は、県内では複
数の市町村が設置を検
討しており、本村は利
用人口が多く採算性の
要件を満足する可能性
が大きく、24年度内の
連結申請に向けて進め
ます。

問 第5次滝沢村総合
計画後期基本計画政策
の進捗よく状況は。

答 後期基本計画の進
捗状況は、23年度の各
実行計画事業の確認と
評価をして、進捗よく
の遅れが生じないよう
各政策の目標を達成す
るよう進めます。

問 スマートインター
の設置については。

答 国の高速度道路利
便増進事業に基づいて
実施される事業であり、
村から国へ連結申請を
行い、許可を受けること
が条件です。これから
申請に向けて整備効果、
採算性、交通動態や費
用負担の検討をします。
現段階での他地域と
の競合も含めた進ちょ

無医地域で公共交
通網が未整備な柳沢
姥屋敷地区住民の医療
機関への受診や治療の
交通手段として、姥屋
敷地区は毎週火曜日、
柳沢地区は毎週水曜日
に患者輸送車を運行し
ています。

また、村内各地区と
役場を連絡するバスと
して、同地区を経由し
た福祉バスを毎週月曜
日と金曜日に運行して
います。

問 防衛施設等を生か
した地域環境の整備は、
どのように進捗よくし
たのか。

答 演習場が開設して
以来、本村は、周辺住民
のご理解とご協力を得
ながら、国防の基盤と
なる演習場や駐屯地の
安定的使用を確保する
支援をしています。

防衛施設により周辺
住民が被る不利益や障
害を軽減するため、防
衛施設周辺の生活環境
整備事業として、障害
防止工事や民生安定施
設助成事業を実施して
います。



▲盛岡タイムスHPより引用

問 地元企業の活性化
について伺います。

答 地元企業に仕事が
回る仕組みは、「指名競
争入札」で契約の相手
方を決定し工事、事業
の施行をしています。
指名業者の選定は、
登録業者から選定基準
に従い、発注工事の内
容や工事の規模により、
村内業者の指名を第一
順位として指名してい
ます。

村の商工業界の皆さ
まに仕事をして頂くた
めに、村営の入札全て
に対応できる業者数を
体制として構築できる
ことが望むべき形とな
ります。
今後も村内業者登載
の拡大に向け、様々な
手法、手段の導入を図
り実施をしたいと考え
ています。

本村に避難されている 方への支援と今後の考えは

日本共産党
武田 猛見 議員

これまでの生活支援から きずな基金活用の実施へ

問 被災地の支援と同
時に、村内に避難され
ている方への、これまで
の支援と今後の考えは。

答 これまでは、生活
支援を中心におこなっ
てきましたが、今後は
「きずな基金」を活用し
実施してまいります。

答 ①事業は12件の予
定で、就労者数は48
名です。
また、商工会との
連携・企業誘致に努
めます。

②まちづくりを基本と
した着地型商品の開
発に努めます。
③農業振興計画は「地
域マスタープラン」の
策定と合わせて見直
しします。
クイックスイート
の生産など6次産業
化を推進します。

産業振興策は

問 ①緊急雇用対策な
ど対策の内容は。

②観光について、地域
づくりと一体となっ
た着地型を図るとあ
るが内容は。
③農林業の振興計画見
直しの予定と本年の
重点事業は。

教室の増改築の計画は

問 ①新設校整備まで
の、小学校2校の増
改築の予定は。
②不登校児童対策と被
災者のケア対策は。

①滝沢小学校は、24
年度に2教室の増築
を予定しています。
鶴飼小学校は、25年
度に改修と倉庫の設
置を考えています。
②幼保小連携研究会
やあつたかハートサ
ポーター事業などを
実施します。
また、ケア対策は
県と共同して「心の
サポートプログラム」
を実施します。

検診の受診率向上策は

問 ①各種検診の受診
率の向上目標は。
②国保など医療制度充
実の考えは。
③障害福祉サービス充
実の考えは。
④保育所の待機児童に
ついて解消策は。

答 ①声かけ・ポスター
の貼り付け・防災無
線の活用などで受診
勧奨を図り、未受信
者の聞き取りで向上

未整備道路の解消は

問 ①生活道路の整備
を急ぐ考えは。
②「移動しやすい交通
システムの構築」と
はどんな事業か。

答 ①村道は必要に応
じて局所的な整備を
図っています。
生活道路において
も、マイロード支援
事業など住民協力の
事業として進めます。
②地域交通懇談会など
を通じてニーズの把

握に努めており、「滝
沢村地域公共交通会
議」で検討します。

住民自治のあり方は

問 ①太陽光など再
生可能エネルギーを
検討するとあるが、
具体的な事業は。
②住民自治の今後のあ
り方として、自治組
織の活性化に努める
としているが具体的
な取り組みは。

問 ①住民参加型行
政のためにも「自治
基本条例」が必要だ
が制定の方向は。
②職員の人材育成と職
場環境を充実とある
が、具体的には。

住民が豊かさを 実感できる行政とは

答 ①一般公募による
「たきざわ未来創造
会議」で検討してい
ます。これからは、住
民の知恵を結集し、
今年9月には報告書
を取りまとめる予定
です。
②人事考課制度実施
で職員のチャレンジ
意識やコミュニケーション
を図り能力向
上に努めます。
健康管理やハラス
メント対策など環境
整備に努めます。